

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

※今年度開講される「実務経験のある教員等による授業科目」一覧です。

※各授業科目詳しい授業内容や開講時限等については、シラバス(大学ホームページからリンク)で確認してください。

\*「実務経験のある教員等による授業科目」とは

担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その経験を授業に生かす実践的教育を行っている授業科目を指します。

科目名	担当教員	単位	実務経験を生かした授業
心理学	藪岸加寿子	2	教育及び福祉の領域での臨床経験を踏まえ、人間の行動と心を研究する心理学の概要を解説します。保育士として将来活躍していくために、必要となる基礎的な心理学のトピックを具体的にとりあげます。
日本国憲法	中村紘也	2	弁護士資格を有した教員が、判例を交えながら知識とバランス感覚養うとともに、適宜問題を解くなどといったアウトプットの機会を設け、憲法の知識の修得を確実なものにし、判例を用いてディスカッションを行うなど、多方向性にも配慮した授業を行う。
国語表現法	加藤扶久美	2	「英語教育」(中学校と高校)12年間と「外国人対象の日本語教育」(大学と専門学校)27年間の経験を有した教員が、日本人に対する「日本語(国語)教育」として、「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能の能力を涵養し、コミュニケーション力を高め日本文化の特徴や長所や乳幼児・児童の人間形成や成育の中で言葉の果たす役割について、理解を深め幼稚園・保育園のための基礎語彙を完成をめざす科目である。
教育原理	徳増全矢	2	小学校での実務経験を有する教員により、「教育とは何か」という問いについて、西洋と日本の教育の歴史や思想を学ぶことにより、自らの考えを醸成する。教育課程・教育方法や教育制度などについて学び、教育のしくみに対する理解を深めるとともに、現代の教育がかかえる課題についても考える。
教育課程論	柴田智世	2	本科目担当教員は幼稚園および小学校での実務経験を活かして、理論的な学びと共に、具体的な事例を取り上げ、保育における子どもの姿を想定した実践的な学びのできる授業を目指す。
社会的養護 I	鈴木聡	2	児童相談所での勤務経験を交え、社会的養護の全体像について解説し、その概要を学ぶ。
社会的養護 II	平松喜代江・鈴木聡	1	児童相談所での勤務経験を有する教員が、社会的養護の基本として児童福祉施設における施設援助に焦点を当ててディスカッションを通して学習していく。
教育と社会	徳増全矢	2	小学校での実務経験を有する教員により、教育現場の実態に即して理解を深める。教育を実践していくうえで必要とされる社会的、制度的及び学校経営の基礎的知識を学生自身が主体的に理解することを旨とする科目である。
教育心理学	徳増全矢	2	小学校での実務経験を有する教員により、教育現場の実態をふまえながら理解を進める。教育心理学の基礎知識を、乳幼児期・児童期(障害児を含む)に焦点を当てて学ぶ。
幼児の環境	徳増全矢	1	小学校での実務経験を有し、ネイチャーゲーム指導員としての実践経験を有する教員(徳増)により、保育現場の実態に即して理解を深める科目である。
幼児の言葉	田中裕子	1	保育現場での実務経験を有する教員が、人間にとっての言葉の持つ意義・役割とその獲得過程を理解することを通して、幼児の言葉を育て、言葉に対する感覚や想像力を豊かにするための児童文化財の活用について、実践を通して修得する授業を行う。
子どもの保健	鈴木壽真子	2	保育現場での実務経験を有する教員が、保育士として子どもの命を守る立場であることを一人ひとりが自覚できるよう、保育現場での事例も伝えながら子どもの健康・成長発達についての学ぶ科目である。
障がい児保育	仲森みどり	1	保育現場、児童相談所での実務経験を有する教員が、障がい児保育の歴史の変遷や社会的背景を学び、障がい児保育の現状について正しい理解をする科目である。
子どもの理解と発達	小島佳子	1	公立保育所において0歳児から就学前までの子どもたちや保護者と関わった経験を生かし、具体的な子どもの姿や子ども・保護者との関わり方について実践事例を通して考える機会を提供し、保育現場で活用されている教材や遊びを紹介する科目である。
子ども家庭支援の心理学	仲森みどり	2	保育現場の経験を有する教員が、実践の場において、子ども理解が深められるように、発達心理学及び臨床心理学の知見を踏まえて生涯発達の観点から乳幼児期以降の発達課題を学ぶ科目である。
子どもの健康と安全	山野栄子	1	三重県内公立保育所での実務経験を有する教員が、保育現場の実態に即して、乳幼児の疾病予防や安全管理、地域や家庭との連携など、保健的な視点から、知識を学び、理解を深めて実践できるようにする科目である。
子ども家庭支援論	中島由美子	2	障害者支援施設、乳児院、児童養護施設、自立訓練(生活訓練)事業所での勤務経験があり、家庭支援専門相談員や生活支援員の経験を活かし、家族支援、関係機関との調整、知的障がい・発達障がい・精神障がいがある方への支援について解説する科目である。
乳児保育 I	山野栄子	2	三重県内公立保育所での実務経験を有する教員が、保育現場の実態に即して、乳児保育の重要性や乳児期における心身の発達、さらに保育内容と記録のとり方など、乳児の保育について理解を深める科目である。
乳児保育 II	山野栄子	1	三重県内公立保育所での実務経験を有する教員が、保育現場の実態に即して、乳児保育の重要性や乳児期における心身の発達、さらに保育内容と記録のとり方など、乳児の保育について理解を深め実践力を身につける科目である。
障がい児の理解	鈴木壽真子	2	障がいのある子どもの保育や療育の現場からの経験から、障がいのある子ども・特別な支援を必要とする子どもの特性について学び、子どもへの理解を深め、保育者として、その家族を含めた支援のあり方を知る科目である。
乳幼児の理解	小島佳子	2	公立保育所で勤務した経験を生かして実践事例をまじえた講義を主軸に置きながら、学生が短時間の模擬保育を経験する場を設定する科目である。
保育内容総論	田中裕子	1	幼稚園教諭または園長としての長年の実務経験をもつ教員により、保育活動の基盤となる「幼稚園教育要領」を中心に幼稚園における保育内容の基礎と内容を学び、保育内容の中核となる「領域」について概念を理解するとともに、保育そのものを総合的にとらえる視点、あるいは子ども理解の一助となるための必要な知識・技術を習得する科目である。
人間関係指導法	山野栄子・大矢知佳	1	三重県内公立保育所での実務経験を有する教員が保育の場面の事例を参考に一緒に考察し、人と関わる力の基礎を育む乳幼児期に、人間として生きていく上で大切な自立心や人と関わる力を発達過程に即して培う方法や、愛着関係・信頼関係を如何に築いていくことが大切か学ぶ科目である。
言葉指導法	田中裕子・小澤登生男	1	幼稚園教諭または園長としての長年の実務経験をもつ教員により、幼稚園教育要領等に示された幼児教育の基本を踏まえ、保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解するとともに、幼児の発達を踏まえて豊かな言葉の感覚や表現力を身に付けるための指導のあり方や教材等の活用方法(情報機器の活用を含める)について学ぶ科目である。
表現指導法	中村真緒	1	保育現場での経験を有する教員が、保育内容の各領域を総合的に捉え表現活動を中心に乳幼児の実態に応じて保育内容の展開や指導法を学ぶ。
幼児の造形表現 I	安藤恭子	1	美術教育を専門に学んだ小学校教員として、さらに岐阜県内公立小学校校長としての実務経験を有する教員により、色と形に関わる基礎的な内容と、将来の保育者としての造形に関わる内容を鑑みて体系的に習得する科目である。
幼児の造形表現 II	安藤恭子	1	美術教育を専門に学んだ小学校教員として、さらに岐阜県内公立小学校校長としての実務経験を有する教員により、色と形に関わる基礎的な内容と、将来の保育者としての造形に関わる内容を鑑みて体系的に習得する科目である。
教育相談	仲森みどり	2	保育現場、児童相談所での実務経験を有する教員により、カウンセリングの基本的知識、保護者に対する支援がなぜ必要なのかを事例を通じて学ぶ科目である。
障がい児の支援	小島佳子	2	公立保育所で統合保育を実践した経験から実践事例を紹介し、多様な視点から子どもの成長や関係性について学び、考える場を提供する科目である。
子育て支援演習	仲森みどり	1	保育園、母子生活支援施設、児童相談所での実務経験を持つ教員が、現場での事例を基に保護者や子どもに対し、どのような対応や支援をするのかを具体的に演習を取り入れながら行う科目である。